



自己評価・外部評価 評価表

アンケート配布14名
回答数11名 未回答1名(川田)

実施期間: 令和6年2月13日～2月19日

事業所名: 木下川幸地区(同アネーメント)
CM 6件→回答5件、未回収1件
看護2件→回答1件、未回収1件
利用者6名→回答5件、未回答1件川田つるこ

タイトル	項目番号	項目	実施状況					コメント	ケアマネージャー コメント	利用者コメント
			できて いる	ほぼ できて いる	できて いない	全く できて いない	無 回答			
			回答数							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]										
(1) 理念の明確化										
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	7	1	0	0	3	11		・出来ている
(2) 適切な人材の育成										
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	5	1	0	0	0	6		
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	5	1	0	0	0	6		・居宅では詳しい内容は分かりかねます
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	4	2	0	0	0	6		
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	4	2	0	0	0	6		・看護介護ミーティングの機会が減った
(3) 適切な組織体制の構築										
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	5	1	0	0	0	6		
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	5	1	0	0	0	6		

タイトル	項目番号	項目	実施状況					コメント	ケアマネージャー コメント	利用者コメント
			できている	ほぼ できている	できていない ことが多い	全くできていない	無回答			
			回答数							
自己評価 介護2件→回答5件、未回収1件 利用者6名→回答5件、未回答1件川田つるこ										
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備										
利用者等の状況に 係る情報の随時更 新・共有のための 環境整備	8	利用者等の状況について、(個人 情報管理に配慮した上で)必要に 応じて関係者間で迅速に共有でき るよう工夫されている							・スマホを利用する事で情 報が共有できる様になって いる	
			5	1	0	0	0	6		
(5) 安全管理の徹底										
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確 保や災害時の緊急体制の構築等 のため、事業所においてその具 体的な対策が講じられている(交通 安全、夜間訪問時の防犯対策、災害 時対応等)								・理解している ・台風時出来ている
			7	2	0	0	2	11		
利用者等に係る安 全管理	10	事業所において、利用者等に係る 個人情報の適切な取り扱いと保護 についての具体的な工夫が講じら れているとともに、管理者や職員に おいて共有されている								・されている ・出来ている
			8	1	0	0	2	11		
II 過程評価 (Process)										
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成										
利用者等の24時 間の暮らし全体に 着目した、介護・看 護両面からのアセ スメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着 目した、アセスメントが提案されて いる							・生活リズムにあっている ・出来ている	
			6	3	0	0	2	11		
	12	介護・看護の両面からのアセスメン トが適切に実施され、両者の共有、 つき合わせ等が行われている							・介護、看護と情報共有さ れていて、訪問時間の調 整をいただいている	・出来ている
			7	2	0	0	2	11		

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	ケアマネジャー コメント	利用者コメント
			実施状況							
			できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	無回答			
			回答数							
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている						11		・出来ている
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	6	3	0	0	2			
	(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し					3	2			
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている						11	・利用者様の体調に変化があった時など訪問時間、回数を調整してもらっている	・出来ている
			8	1	0	0	2			
	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている							
			8	1	0	0	2			
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供										
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている						6		
			4	2	0	0	0			
	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている							
			4	2	0	0	0			

110件→回答5件、未回収1件
看護2件→回答1件、未回収1件
利用者6名→回答5件、未回答1件川田つるこ

タイトル	項目番号	項目	自己評価					コメント	ケアマネジャー コメント	利用者コメント
			実施状況							
			できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	無回答			
			回答数							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている						11		・十分にされている ・ほぼ出来ている。時々体調が悪い時もあり、座る事が難しい時柔軟に対応してくれている。 ・出来ている
		6	2	1	0	2				
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている						11		・計画の説明がなかった。 内容が思い出せない。 今は出来ている
		6	2	0	1	2				
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている						11		・家族がいない ・出来ている(息子と連絡取れている)
		6	2	0	1	2				
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント										
(1) 共同ケアマネジメントの実践										
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている						6		
		3	3	0	0	0				
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている						6		
		3	3	0	0	0				
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている						6		
		3	3	0	0	0				

タイトル	項目番号	項目	実施状況					コメント	ケアマネジャー コメント	利用者コメント
			できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	無回答			
			回答数							
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	3	1	1	0	1	6		
Ⅲ 結果評価 (Outcome)										
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	7	2	0	0	2	11		・出来ている ・痛みの確認の声掛けをしてくれている ・ほぼ出来ている
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	7	2	0	0	2	11		・安心感がある ・出来ている ・スタッフが来てくれる事が安心につながっている。
全体 前回の那覇市保険者より アンケートにおいて利用者・利用者家族の無回答(項目)が多かった。 次回、アンケートの回答いただく際は無回答がないように、専門用語を使わず、分かりやすい質問の心がけ、意見や評価を得るよう工夫してください。 事業所評価から課題抽出し、今後改善が取り組まれると思いますが、分からない事、不明な点があれば、那覇市(担当)にご連絡ください。										

タイトル	項目番号	項目	実施状況					コメント	ケアマネージャー コメント	利用者コメント
			できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない	未 回答			
			回答数							
介護士5件→回答5件、未回収1件 看護2件→回答1件、未回収1件 利用者6名→回答5件、未回答1件川田つるこ										
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献										
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	3	2	1	0	0	6		
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	3	2	1	0	0	6		
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	3	3	0	0	0	6		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画										
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案										
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	3	0	0	0	6		
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	3	2	1	0	0	6		
(2) まちづくりへの参画										
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	3	3	0	0	0	6		
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	4	2	0	0	0	6		